

# 学校だより～令和元年度 1月 臨時号～



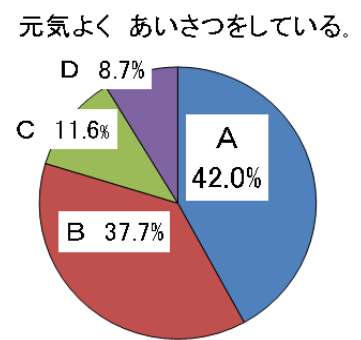
令和2年1月  
校長 三上 直美

## 学校評価アンケートの結果から ～よりよい春日野小学校の教育を目指して～

保護者アンケートや児童によるふりかえりアンケート・教職員の自己評価の結果から本校の取組について分析や検討を行いました。その結果を基に、さらなる春日野小学校の教育の充実と発展を目指していきたいと考えています。アンケートのご協力ありがとうございました。

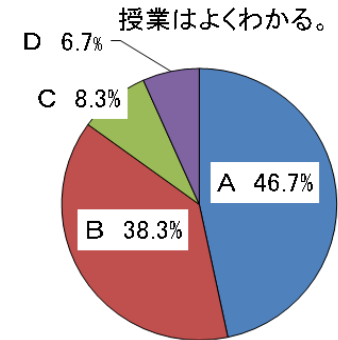
A（よくできている） B（大体できている） C（あまりできていない） D（できていない）

### 【児童アンケート結果】



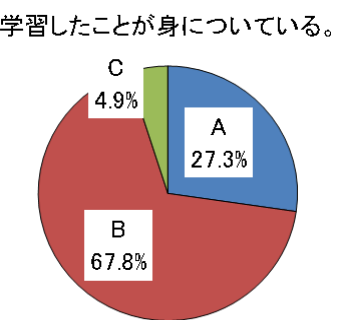
- 1学期の結果では、67.5%の児童が元気よくあいさつをしていると答えている。
- 2学期は、79.7%が元気よくあいさつをしていると答えており、友達や先生、学級の中での信頼関係が高まっている様子が伺える。

見守り隊の方をはじめ、育友会の方や教職員が登校時に声かけをしていることがあいさつを自主的に行うことにつながっている。

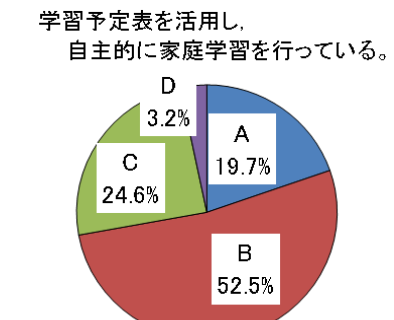


- 1学期は、84.7%の児童がよくわかると答えていて、15.3%がよくわからないと答えている。
- 2学期は、85%がよくわかると答えており、15%がわからないと答えている。わからないと答えている児童に新たな手法で支援しなければならない。

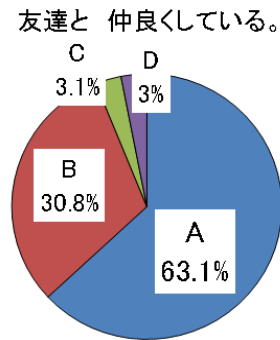
### 【保護者アンケート結果】



- 1学期の結果では、身につけているが85.1%となっている。
- 2学期は、95%が身につけていると回答。この結果から、保護者の方の日々の働きかけや教職員の取組が、子どもたちへ届いていることがわかる。今後も継続して取り組みを進めていきたい。

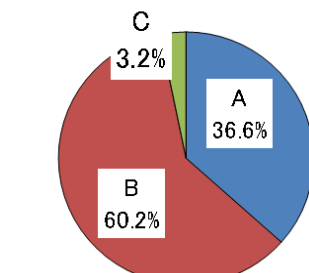


- 1学期の結果では、64.5%が家庭学習を自主的に行っていると答えておられる。
- 2学期は、72.2%が自主的に行っているという結果で、大幅に増えている。10月に配布した、「家庭学習の手引き」の活用の結果であると捉えたい。



- 1学期は、93%の児童が仲良くしていると答えている。7%の児童はなかよくできていないと感じている。
- 2学期は、93.9%が仲良くしていると答え、6.1%が仲良くしていないと答えている。児童が友達とけんかをしてしまった時に、じっくり話を聞いていたり、アドバイスをしたりして自尊心をもたせることも大切なことである。

優しさや思いやりが育ってきている。



- 1学期の結果では、94.6%が育ってきていると回答されている。
- 2学期は、96.8%が育ってきていると回答されている。今後も保護者や地域の皆様と連携し、思いやりのある子どもを育てていきたい。

### 【教職員アンケート】

○学習面・・・「人の話をしっかりと聞いて学習している」や「進んで自分の思いや考えを話そうとしている」「最後まであきらめずに、学習や物事に取り組んでいる」については、ほとんどの教職員ができていますと答えている。一方で、「学習予定表を使って、予習や復習、学習の振り返りをしている」ということについては、まだ不十分であると感じている。

○生活面・・・「自分のことは自分でやろうとしている」「仲良く安全に気を付けて生活している」では、多くの教職員ができていますと答えている。反対に、「誰に対しても元気よく挨拶をしている」については、あまりできていないと感じている教職員が多い。誰に対しても気持ちのいいあいさつができるようになるように、まずは教職員が手本となり、実践していきたい。

### 【地域の方より】

長年、お世話になっている地域の方にご意見をいただきました。

○登下校時の挨拶・・・元気に笑顔であいさつしてくれる児童がたくさんいます。高学年になってくると照れくさそうにする児童もいますが、素直にあいさつしてくれます。帰り道で出会った時も「さようなら。」と元気に言ってくれる子がほとんどです。

○放課後まなび教室・・・宿題をする様子を見ていると、できなかった計算がスラスラできるようになったり、書き順を気にせずに文字を書いていた子が、正しい書き順で丁寧に書いている様子も見られました。できたことを誉めてあげると、短期間でも子どもはぐんぐん成長するんですね。

○健やかな体の育成・・・放課後に公園で元気に遊んでいる子どもたちをよく見かけます。これからもどんどん外に出て友達と遊び、健やかな体をつくってほしいと願っています。

### 【今後の取り組みについて】

○確かな学力の育成・・・児童アンケートでは、「授業がよくわかる」という質問に対して1学期と2学期の変化はほとんどなかったが、保護者アンケートでは、「学んだことが身についている」という項目で多くの保護者が成果を感じておられる。今後もチャレンジ10や学力分析、さらには「家庭学習の手引き」の活用などの取組を継続・充実させる。

○豊かな心の育成・・・あいさつ運動の継続、教職員が手本となるような温かい行動を示すことを第一に実践していく。また、生活場面や学習場面で、児童が主体的に考えようとする態度を養うために、特に人権タイムや道徳の授業で、自分の思いを伝え合うことができるような場の設定をする。

○健やかな体の育成・・・「生活調べ」「歯みがき指導」「食の指導」「安全教育」等の取組を継続させていきたい。生活調べでは、今年度よりスマートフォンやテレビゲームの時間を短くすることが目的となっている「アウトメディア」という項目を追加した。児童を取り巻く環境の変化を見極めながら、健やかな体づくりに役立てていきたい。また、体幹を鍛える「くねくね体操」を体育の準備運動に取り入れ、バランスの良い体をつくっていく。

